

平成27年度 No.2

理科教育センター便り

平成27年10月発行

発行者
 久留米市理科教育センター
 所長 後藤 真
 久留米市南1丁目8番1号
 (久留米市教育センター内)
 TEL (0942) 36 - 9777
 36 - 9778
 FAX (0942) 35 - 9930

第68回久留米市理科作品展 出品点数702点

去る9月5日(土)、6日(日)の両日に、久留米工業大学で行われた「久留米市理科作品展」は、過去最高の702点の理科作品が出品され、また昨年をしのぐ多くの参観者を迎えて、盛会の内に終えることができました。夏休みを中心に観察・研究、創作、採集を頑張ってお出品してくれた子どもたち、またそれを指導していただいた先生や保護者の皆様、そして会場監視等で「久留米市理科作品展」を陰で支えてくださった理科教育センター委員の先生方に深く感謝いたします。



— 今回の作品展での成果は、 —

- ① 中学校生徒の出品点数が増えたこと
- ② 作品の着眼点やまとめ方がよくなってきていること
- ③ 参加者数の増加や半数以上の人々が初めて参観されていることから、「久留米市理科作品展」が保護者の皆さんに周知されてきたこと

が挙げられます。

— しかし、課題としては —

- ① 研究物がほとんどで、創作物と採集物(特に採集物は19点で全体の3%)の作品の数が年々減少してきていること
- ② インターネット等で調べたりするなど、短期的な研究や調べ学習的な研究が多いこと

などが挙げられます。

この成果と課題をふまえ、次年度も子どもたちの素晴らしい作品が多く出品され、今年以上の「久留米市理科作品展」になることを期待しています。

子どもたちの「工夫、アイデア、努力」で、素晴らしい理科作品ができあがります。先生方の子どもたちへの支援、指導をよろしくお願いします。

□出品点数

研究物	581点
創作物	102点
採集物	19点
計	702点

※ 昨年度は、651点

□入場者数

入場者 期日	子ども	大人	計
	9月5日(土)	440名	467名
9月6日(日)	844名	927名	1459名
計	1284名	1394名	2678名

※ 昨年度は、2393名

「久留米市理科作品展」では、ものづくり久留米の発展を願って、文化財保護課が主催する「からくり儀右衛門展」と会場を提供していただいている久留米工業大学が共催して、創作物を中心に審査を行っています。今年は、以下の作品が入賞しています。

◇ 平成27年度久留米市理科作品展 入賞作品及び入賞者◇

【久留米市長賞】	五重の塔は本当に倒れないのか	江上小	4年	内田 遍
【久留米教育委員会教育長賞】	電池リニアを走らせよう	高良内小	6年	織邊弘士郎
【久留米工業大学賞 小学生部】				
金賞	耳の不自由な人が危険を知るベスト	宮ノ陣小	5年	八尋 智紀
銀賞	リニアモーターキューブ	東国分小	2年	栗原 琉斗
銅賞	雪の結晶のふしぎ	柴刈小	4年	永松 由妃
特別賞	食塩水と砂糖水の温度差の違い	上津小	5年	岡 優生
【久留米工業大学賞 中学生部】				
金賞	エコ瞬間冷凍パックを作ってみよう	江南中	2年	森永 泰耀
銀賞	発電コストと効率	城南中	1年	谷 慎一
銅賞	液化化現象について	北野中	1年	原口 瑞稀
特別賞	台風を予測する草の研究	諏訪中	1年	千綿悠太郎



市長賞に選ばれた作品
「五重の塔はなぜ倒れないのか」



久留米工業大学の学生による
「シャボン玉のふしぎ」



青少年科学館の専門員による
「ふしぎマジック」

今人気の理科教育センター備品 貸し出し数増える

理科教育センター委員の皆さんが各学校で、理科教育センターの備品の紹介をしていただいたおかげで、昨年より貸し出し数が増えています。

特に、以下の備品が多く貸し出されています。ただ、学習時期が重なるためお待ちいただくこともありますので、早めの予約をお願いします。

- デジタル双眼実体顕微鏡 □光電池用ライト □骨と筋肉の動き実験器 □筋肉と関節の模型
- 簡易プラネタリウム □流水実験器 □三球儀 □たんじょうのふしぎ (DVD)
- 流れる水のはたらき (DVD) □月・星は動くのだろうか (DVD) □星や月② (DVD)

これからの学習に使える備品等

- ものの重さ比較セット(3年)… 8 □簡易プラネタリウム… 1 □ガスコンロ… 9
- 電磁石60kg… 2 □デジタルばかり… 6 □手回し発電機… 6
- 台付きオルゴール… 4 2 □土地のつくりと変化①②③④(6年)… 各1
- 月と月の満ち欠け②③(中学校)… 各1